

各報道機関文教担当記者 殿

金沢大学グローバルサイエンスキャンパス新プログラム^(注)第Ⅰ期生 第2ステージ研究成果発表会および閉講式の開催について

金沢大学グローバルサイエンスキャンパス（GSC）では、高校生・高専生を対象に、将来グローバルに活躍しうる科学者・技術者の育成を目指し、国際的な活動を含む高度で体系的な理数教育プログラムを提供しています。

このたび、令和2年10月から開始した新プログラム第Ⅰ期において、第2ステージへと選抜され、本学および連携機関である北陸先端科学技術大学院大学、石川県立大学の教員の下で課題研究を行った受講生の研究成果発表会および閉講式を開催いたします。

今回発表する受講生は、石川、長野、神奈川の3県から参加している高校生17名で、宇宙物理学、化学、生物、環境など多岐にわたる分野から選択した17のテーマについて本年4月から行ってきた研究の集大成として、その成果を披露します。途中、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大学での実習が一時中断されましたが、その間も遠隔による討議や在籍校と連携しながら実習を続け、この日を迎えることができました。

つきましては、下記のとおり研究成果発表会および閉講式を執り行いますので、当日の取材・報道をよろしくお願いいたします。

※ご来場の際は、検温のうえ、マスク着用でお願いいたします。

■金沢大学グローバルサイエンスキャンパス新プログラム第Ⅰ期生（通算第Ⅴ期生） 第2ステージ研究成果発表会および閉講式

日時： 令和3年11月13日（土） 10:30～16:30

場所： 金沢大学自然科学大講義棟レクチャーホール（金沢市角間町）

概要： 10:30～10:40 開会挨拶

10:40～15:05 成果発表（口頭、途中11:51から昼休憩）

15:05～16:30 閉会・閉講式・情報交換会・記念撮影

※詳細は別添資料をご参照ください。

※報道関係者におかれましては、10:00～14:50に随時会場までお越しください。来場の際は、まず会場受付にて取材である旨お知らせ下さい。

（注）金沢大学グローバルサイエンスキャンパス（GSC）は国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「グローバルサイエンスキャンパス」事業の一つとして採択され、本学が実施しているプログラムです。平成28年度に採択された4年間のプログラム終了後、令和2年度に再度採択され、現在新プログラムとして実施しています。

Webサイト：<https://gsc.w3.kanazawa-u.ac.jp>

<本件照会先>金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事務局 中村・永瀬

Tel：076-234-6860 E-mail：gsc@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学理工系事務部総務課総務係 野口

Tel：076-234-6957 E-mail：s-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp

集まれ、未来をつくるキワモノたち！！



金沢大学

グローバルサイエンスキャンパス (GSC)

～人類の未来をつくる独創的研究者の育成～

当プログラムは体験ステージ、第1ステージ、第2ステージ、第3ステージで構成されています。
このたび、受講生が第2ステージで取り組んできた研究成果をスライドで口頭発表します。

新第1期生 第2ステージ 研究成果発表会

2021年 11月13日(土) 10:30～16:30
(受付開始10:00)

会場 金沢大学自然科学大講義棟1階 レクチャーホール

北鉄バス 金沢大学自然研前 下車

主催 金沢大学

**受講生
所属高校**

金沢大学附属高等学校、金沢泉丘高等学校、金沢二水高等学校
七尾高等学校、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
長野市立長野高等学校、金沢高等学校
東海大学付属諏訪高等学校

グローバルサイエンスキャンパス(GSC)とは、将来世界を舞台に活躍し、世界をリードする科学技術人材を育成するために、大学等と科学技術振興機構(JST)が連携し、実施している事業です。金沢大学においても多くの高校生がプログラムに参加し高度な学習や様々なテーマの研究活動に取り組んでいます。



問い合わせ

金沢大学 グローバルサイエンスキャンパス(GSC) 事務局

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工系事務部学生課

TEL: 076-234-6860 FAX: 076-234-6844 e-mail: gsc@adm.kanazawa-u.ac.jp

Webサイト <https://gsc.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



金沢大学グローバルサイエンスキャンパス (GSC)

新第 I 期生 第 2 ステージ研究成果発表会



日時 令和 3 年 1 1 月 1 3 日 (土) 1 0 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0

会場 金沢大学自然科学大講義棟 レクチャーホール (1 階)

プログラム

| | |
|---------------------|----------------|
| 10 時 00 分~10 時 30 分 | 受付 |
| 10 時 30 分~10 時 35 分 | 開会の辞 |
| 10 時 35 分~10 時 40 分 | 事務連絡・実施要領確認 |
| 10 時 40 分~14 時 55 分 | 成果発表 |
| 10:40~11:51 | 第 1 グループ (6 名) |
| 11:51~12:30 | 昼食 |
| 12:30~13:41 | 第 2 グループ (6 名) |
| 13:41~13:56 | 休憩 |
| 13:56~14:55 | 第 3 グループ (5 名) |
| 14:55~15:05 | 休憩 |
| 15 時 05 分~15 時 35 分 | 閉会・閉講式 |
| 15 時 35 分~16 時 30 分 | 情報交換会・記念撮影・解散 |

金沢大学GSC 新第Ⅰ期（通算第Ⅴ期）第2ステージ 中間報告会 発表テーマ一覧

注：令和3年8月8日（日）に開催された中間報告会時の受講生の発表テーマ。

研究成果発表会時には変更される可能性あり。

| 出身県 | 学年 | 発表題目／研究テーマ |
|-----|----|---|
| 石川 | 2 | Fluidic Changes in Supernova Explosions 超新星爆発における流体的な変化について |
| 石川 | 2 | Temperature reduction effect by water retentivity and permeability of porous mortars for pavement 保水性・透水性舗装の温度低減効果に関する研究 |
| 長野 | 2 | Fix carbon dioxide to minerals |
| 石川 | 2 | Exploring the limit of fish eyesight魚の視力の限界を探る |
| 石川 | 2 | Mystery of fish ear stone 魚の耳石の形状と遊泳能力、周辺環境との関連性について |
| 石川 | 2 | Restoration of water temperature using shells ~The hidden power of familiar biomineral: 貝殻を使った水温復元 ~身近な生体鉱物の秘めたる力~ |
| 石川 | 2 | A Relationship between Kendo and Hearing剣道と聴覚の関係 |
| 長野 | 2 | Fermented Food And Health |
| 石川 | 2 | How Soils Affect Skeletons 土壌が骨格に及ぼす影響 |
| 石川 | 3 | Impact of lights on the ecology of Mijinko光がミジンコの生態に与える影響 |
| 神奈川 | 2 | Antioxidant effect of fullerenol フラレノールの抗酸化活性 |
| 石川 | 2 | Design of a New sunscreen Safe for both Environmentand Our skin 環境と私たちの肌の両方に安全な新しい日焼け止めのデザイン |
| 石川 | 2 | Make New Disinfectant Using the Citrus Peel's Power 柑橘類の皮の力を利用して新しい消毒剤を作る |
| 石川 | 2 | Towards a Gravity-Aware Simulation of Colloidal Particle Crystallization 重力を考慮したコロイド結晶化シミュレーションに向けて |
| 石川 | 2 | How to make plastic from fish scales? 魚のウロコからプラスチックを作るには |
| 長野 | 3 | Modification of plant cell size by genome editing. ゲノム編集による植物の細胞サイズの改変 |
| 長野 | 3 | Inactivation of phage virus by ultrasound irradiation in the presence of ultrafine bubbles ウルトラファインバブルと超音波を組み合わせたファージウイルスの不活性化 |